

DRL プロバイダ Molex DRL ボード

Version 1.0.0

ユーザーズ ガイド

March 31, 2017

【備考】

【改版履歴】

バージョン	日付	内容
1.0.0.0	2016-6-21	初版.
1.0.0.1	2017-3-31	誤記修正.

【対応機器】

機種	バージョン	注意事項
DRL-EIP-PC	4.1.0	
IE	4.2.0	

目次

1. はじめに.....	4
2. プロバイダの概要	5
2.1. 概要	5
2.2. メソッド・プロパティ	5
2.2.1. CaoWorkspace::AddController メソッド	5
2.2.2. CaoController::AddVariable メソッド.....	6
2.2.3. CaoController:: get_ VariableNames プロパティ.....	6
2.2.4. CaoVariable::get_ Value プロパティ.....	6
2.2.5. CaoVariable::put_ Value プロパティ.....	6
2.3. 変数一覧.....	7
2.3.1. コントローラクラス	7

1. はじめに

本書は molex 製 DRL ボードにアクセスするためのプロバイダです。DRL ボードの対象は DRL-EIP-PCIE です。

詳細については molex 社の ApplicomIO PC Network Interfaces installation CD-ROM を参照してください。

注意:DRLプロバイダを使用するには、DRLボードのデバイスドライバをインストールしなければなりません。ドライバインストール後にプロバイダをレジストリ登録する必要があります。レジストリ登録の方法は表 2-1 を参照してください。

2. プロバイダの概要

2.1. 概要

DRL プロバイダは DRL ドライバの各 API をラップし、ORiN に沿った方法で操作を行うための CAO プロバイダです。そのファイル形式は DLL(Dynamic Link Library)であり、CAO エンジンから使用時に動的にロードされます。

表 2-1 DRL プロバイダ

ファイル名	GaoProvMolexDRL.dll
ProgID	GaoProv.MolexDRL
レジストリ登録 ¹	regsvr32 GaoProvMolexDRL.dll
レジストリ登録の抹消	regsvr32 /u GaoProvMolexDRL.dll

DRL プロバイダを使用するには事前に ApplicomIO PC Network Interfaces installation CD-ROM に同梱される Console IO を使用してボードの設定を行う必要があります。

2.2. メソッド・プロパティ

2.2.1. GaoWorkspace::AddController メソッド

DRL プロバイダでは Controller オブジェクトの生成時に DRL ボードとの通信処理を行います。

書式 AddController(<bstrCtrlName:BSTR>,<bstrProvName:BSTR>,
<bstrPcName:BSTR > [,<bstrOption:BSTR>])

bstrCtrlName : [in] コントローラ名
 bstrProvName : [in] プロバイダ名. 固定値 =” CaoProv.MolexDRL”.
 bstrPcName : [in] プロバイダの実行マシン名
 bstrOption : [in] オプション文字列

以下にオプション文字列に指定するリストを示します。

表 2-2 GaoWorkspace::AddController のオプション文字列

オプション	意味
Board[=<ボード番号>]	接続先の DRL ボード番号(デフォルト:1)

¹ プロバイダの登録は regsvr32.exe または RegCOM.exe ([スタート]→[ORiN2]→[Tools])で実行できます。DRL ボードのデバイスドライバをインストールしていないと、DRL プロバイダの登録はできません。

2.2.2. CaoController::AddVariable メソッド

このメソッドでは、DRL ボードにアクセスする変数オブジェクトを生成します。

変数名には、2.3.1 の変数のみ使用することができます。これら以外の変数名を指定したときは、このメソッドはエラーを返します。

書式 AddVariable(<bstrName:BSTR > [,<bstrOption:BSTR>])

bstrName : [in] 任意の名前

bstrOption : [in] オプション文字列

オプション文字列には以下のものを用いて、バッファサイズを指定することができます。

表 2-3 CaoController::AddVariable のオプション文字列

オプション	意味
Size[=<データ長>]	読書きデータ長 (byte 単位 デフォルト:1)

2.2.3. CaoController:: get_VariableNames プロパティ

2.3.1 の変数を取得します。

2.2.4. CaoVariable::get_Value プロパティ

変数に対応する情報を取得します。各変数の実装状況および取得データについては、2.3.1 を参照して下さい。

2.2.5. CaoVariable::put_Value プロパティ

変数に対応する情報を設定します。各変数の実装状況および設定データについては、2.3.1 を参照して下さい。

2.3. 変数一覧

2.3.1. コントローラクラス

表 2-4 コントローラクラス ユーザ変数一覧

変数名	データ型	説明	属性		オプション
			get	put	Size
IO?	VT_ARRAY VT_UI1	I/O 現在値の取得を行います。 変数名の最後の”?”“にオフセット値を指定することができます。	○	-	○
FIO?	VT_ARRAY VT_UI1	I/O 現在値の設定, および設定値の取得を行います。 変数名の最後の”?”“にオフセット値を指定することができます。 DRL ボードには出力中の値を取得する関数がないため, FIO 変数を AddVariable した直後に get すると 0 が返ります。	○	○	○